

「国交省って何しているところ？ 港はどうして必要なの？」



国土交通省 九州地方整備局 別府港湾・空港整備事務所の
私たちがお答えします ✨ ✨



出前講座を開催した経緯

10月27日(水)に別府港の係長と入省2年目係員の2名が判田小学校の5年生約100名を前に出前講座を実施してきました。
別府港において、小学校での出前講座は**今年初**になります。しかも100名の人を前に話すのは、2人とも未体験のこと。
果たしてうまくいったのでしょうか？

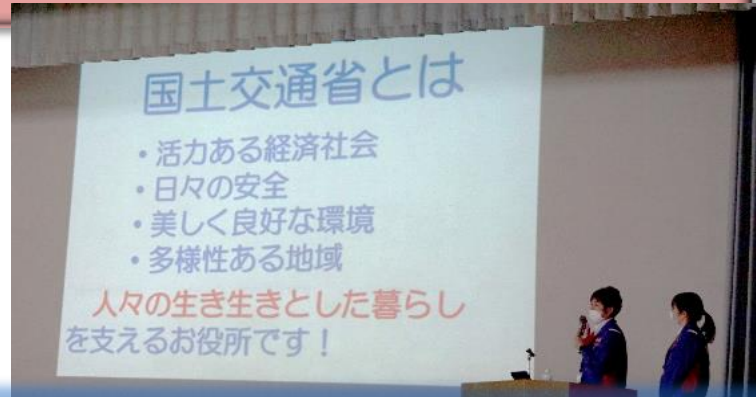
●出前講座、スタート！

私は国土交通省 九州地方整備局 別府港湾・空港整備事務所です。
本日は「港の奥深さ」を皆さんに知ってもらうためにやってきました。
今日はよろしくお願いします。



「国土交通省について」

国土交通省では、日々たくさんの人たちがたくさんの仕事をしていること、そして、「港・空港」はその中の一歩であること、国土交通省は人々の生き生きとした暮らしを支えることを目的とした省庁だということを、講義しました。



「暮らしを支える港」



・私たちの暮らしは物流によって支えられ
99.6%の貨物は船で輸送されている
・日本の衣食住は輸入によって成り立っており、
港を整備することで日本人の暮らしが支えられている
・防波堤や航路など、港の設備の必要性
などをスライドやアニメ、動画、クイズで説明しました。



みんなクイズに積極的に参加していました！
港のこと、お父さんやお母さんに教える側になって頂けたら嬉しいですね！

「大分の港について」





大分には様々な港があり
港ごとに運んでいるものが違うことや特徴を
説明しました。
フェリーや別府の話をする
と「乗ったことある！知ってる！」などの反応があ
りました。
小学生が楽しめるように
問いかけをしながら
講座を行いました。



終わりの言葉

「港について学ぶ中で驚くことが多かった、
学んだことを今後に生かしたい」と感想と、
「先生、ありがとうございました」
とお礼の言葉を頂きました。
判田小学校の先生からも「すごく分かりやすくして私
も勉強になりました」とお褒めの言葉を頂きました。



大勢の人を前に講義をするのはとても緊張しましたが、
職場の人と練習を重ねた甲斐があつてか、クイズを真剣
に考えてくれている子供たちの様子が心に残りました。

出前講座をする上で、用語や施設名をどのように説明し
たら理解してもらえるかというところに苦戦しました。問
いかけにもたくさん反応してくれて、私も楽しく授業がで
き、良い経験となりました。

☀ 大分合同新聞に掲載されました！ ☀



①港にある施設について説明する国交省職員がクイズを
通して港の役割を学ぶ生徒②大分市判田小学校の判田小



「大分」港について学ぶ
出前講座が10月1日、大分
市の判田小(小野正司校長、
643人)であった。
5年生103人が参加。
国土交通省別府港・空港
整備事務所職員が講師を
務めた。港にある消波プロ
ツクの1個当たりの値段な
ら、

「大分」港について学ぶ
出前講座が10月1日、大分
市の判田小(小野正司校長、
643人)であった。
5年生103人が参加。
国土交通省別府港・空港
整備事務所職員が講師を
務めた。港にある消波プロ
ツクの1個当たりの値段な
ら、

どクイズ形式で学んだ。港
の役割を紹介する動画も視
聴した。広慶業強工務係員
は「日本で流通している貨
物の99.6%は船で運搬。
安全に接岸できるように港
は整備されています」と話
した。塚本吉さん(10)は「港の
施設を、普段は聞く機会
がないので良かった」と話
した。
生徒たちは、社会科で日
本一産量が多い干葉の
餅子について学習して
いる。より理解を深めよう
と事務所に講座を依頼し
た。(中村みさを)

大分市 判田小で出前講座

港の役割に「なるほど」

